

まちづくり懇談会資料（医療特別対策事業の主な取り組み状況）

一 医療体制整備

地域医療体制検討事業（R元～新規）
検討委員会を設置し、医療体制整備に向けた対策と方向性を検討。【別記1】

再編統合推進事業
神栖済生会病院と鹿島労災病院の再編統合を推進。
【別記2】

救急医療体制検討事業（H29～新規）
市内外の医療機関、消防本部、市参加による緊急医療対策チームで、循環器疾患受入体制を検討。

診療所開業支援事業（R元～新規）
診療所誘致のため、開業資金を貸与。上限2,000万円。10年間診療を継続すれば返還免除。

高度医療機器整備事業
救急受入強化と疾病の早期発見、治療のための高度医療機器整備支援。補助率1/3、上限5,000万円

循環器疾患救急受入ネットワーク
(R元年6月スタート)
・救急隊と医療機関のホットラインを設置
・平日夜間、土・日・祝日の分担表作成
・鹿島地方事務組合消防本部管内における救急搬送時間の短縮

H29以前	H30	R元
50分以上	49.5分	49.6分

R2 実績1件（土合地区に開業）

神栖済生会病院 /MR I, 血管造影装置
白十字総合病院 /MR I
鹿嶋ハートクリニック /CT
かみす中央メディカル /CT

一人材確保

医師修学資金貸与制度事業
市内への勤務を条件に医学生、大学院生に修学資金を貸与。月20万円。入学一時金120万円。貸与期間に相当する市内勤務で返還免除。入学一時金貸与者は1年加算。

寄附講座設置事業
市から医科大学への寄附により大学または病院内に寄附講座を設置し、教員及び医師を配置する。

医師確保補助事業
市内医療機関が常勤医師を新規確保した場合、3年間支援する。救急受入機関が非常勤医師を確保した場合も支援。

医師Uターン支援事業
鹿行5市、銚子市、香取市、東庄町出身等の医師が、市内に新規常勤医師として勤務した場合に3年間で500万円支給。

医療従事者支援事業（R元～新規）
救急体制強化に資するよう、医療技術者が高度な技術を習得するための研修会や学会等の参加を支援する。

神栖市若手医師きらっせプロジェクト（R元～新規）
市内の指導医とアドバイザーの参加を得て、魅力ある医療教育・研修環境づくりと情報発信を行う。【別記3】

若手医師受入支援事業（R2～新規）
研修環境向上のための施設整備支援や、指導医確保のため各種手当等の支給、若手医師等の国内外の研修活動の支援等。

R2 現在
・卒業生 1人（研修医・県内勤務）
・大学生 6人

R2 実績	筑波大学	2人
	東京医科大学	3人
	日本医科大学	4人

H30	新規17人	継続10人	非常勤29人
R元	新規13人	継続13人	非常勤21人
R2	新規5人	継続15人	非常勤30人

R2 実績2人

R元 実績 2医療機関 7人
R2 受付中

(ハード支援)
R2 白十字総合病院/統合医療情報システム
神栖済生会病院/医療データシステム
(ソフト支援)
R2 調査中

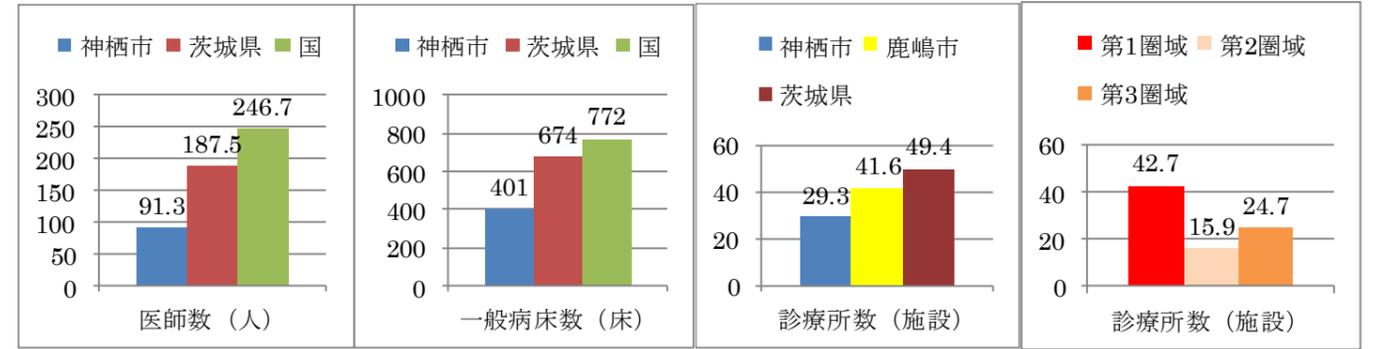
参考データ（人口推計）

	人口(人)	年齢別人口割合(%)			90歳以上の人口(人)
		0~14歳	15~64歳	65歳以上	
1995年	83,171	18.9	70.6	10.5	170
2020年	95,512	12.3	63.6	23.1	975
2045年	77,585	11.1	55.0	33.9	2,941

(患者推計)

	1日当たりの入院患者数(人)	1日当たりの外来患者数(人)
2020年	729	4,524
2045年	809	4,297

(人口10万人当たりの医師数・一般病床数・診療所数の比較)



※圏域とは、神栖市高齢者福祉計画に定める日常生活圏域

【別記1 神栖市地域医療体制検討委員会】(R元年度設置)

- 委員長 永井秀雄茨城県立中央病院名誉院長
- 委員 松倉則夫鹿島医師会会長ほか13人
- 目的 「新拠点病院の整備を見据えつつ、急性期医療から回復期、慢性期、在宅医療までのバランスのとれた医療体制づくりのための『対策と方向性』を検討。」
- 事業内容 委員会の開催
市内外の医療関係者との意見交換会
市民・企業・医療機関アンケート
(令和2年度)
- 対策を実行するための具体的取組を検討。

9つの分野における「対策と方向性」

- ①急性期医療体制の強化
- ②救急医療提供体制の強化
- ③回復期・慢性期機能の強化
- ④在宅医療提供体制の充実
- ⑤医療機関不足・偏在緩和への対応
- ⑥医療機能の分化(役割分担)・連携の推進、ICT等への対応
- ⑦医師不足・医療従事者不足への対応
- ⑧市民・企業への対応・市民の主体的参加や貢献
- ⑨その他

【別記2 再編統合事業】

○平成31年4月1日 再編統合

神栖済生会病院 179床
鹿島労災病院 199床

医療資源の集約化

本院	分院
地域の中核病院として350床を目標に段階的に増築 〈急性期・救急機能〉 〈教育研修機能〉	済生会土合クリニック 10床(休床中) 内科、外科、整形外科 小児科(未提供)

○新病院整備基本計画策定委員会開催中(R2.2~)

○当面の重点項目

- ①消化器等の悪性腫瘍診療機能の充実
- ②整形外科の充実
- ③2次救急体制強化
- ④勤労者の疾病予防
- ⑤他病院、診療所との連携

今後の流れ
R3~基本・実施設計 → 段階的整備 → 順次開院

【別記3 神栖市若手医師きらっせプロジェクト】

(ねらい)
○神栖市ならではの魅力ある教育研修環境づくりと情報の発信

(推進体制とプロジェクトの内容)

推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー 永井秀雄茨城県立中央病院名誉院長 ・推進委員 市内指導医、大学教員
分科会	
<ul style="list-style-type: none"> ・企画検討 ・取組推進 	

- 専門医研修プログラムの拡充
- 地域特性を活かした研修メニュー開発
- 教育研修活動支援
- 指導体制・研修環境の充実
- 情報発信/専用ホームページ立ち上げ
医学情報誌への掲載など

